

写真上段右 > 来賓席 上段左 > 3月28日に生まれた赤ちゃんに記念品を贈呈 中段 > 祝辞を述べる橋本昌茨城県知事
下段右 > 第2部アトラクションで演奏する関城吹奏楽団 下段左 > 式典会場

筑西市誕生記念式典を挙行

新市の門出を祝い、その発展を誓う

7月3日、下館総合体育館（上平塚）を会場に、筑西市誕生記念式典を開催しました。茨城県知事や国会議員、県議会議員、友好都市である岡山県高梁市からの来賓や近隣市町村長などの招待者をはじめ、市内外から約1000人が参加し筑西市の誕生を祝いました。

古宇田和夫助役の開式あいさつで幕を開けた式典では、まず富山県三市長が、「合併して良かったと市民が実感できるよう、『環境と心と福祉を大切にしたい生活先進都市』建設を目指し、安全で安心して暮らし、誇りの持てるまちづくりの実現に向けて、全力で取り組む所存です」などと式辞を述べ、続いて箱守茂樹市議会議長があいさつ。その後、合併功労者表彰と市長感謝状の贈呈が行われ、旧4市町の市長・町長に総務大臣からの表彰状が、合併協議会委員などに市長からの感謝状が手渡されました。

来賓祝辞では、総務大臣代理の江村興治総務省情報通信局地域放送課長や橋本昌茨城県知事、赤城徳彦衆議院議員、狩野安参議院議員、小林元参議院議員、郡司彰参議院議員、岡田広参議院議員などから祝いの言葉をいただきました。

その後、記念セレモニーでは、筑西市と同じ3月28日に生まれた赤ちゃんへの記念品贈呈と市内7中学校の生徒会長による市の未来に向けたメッセージ発表を行い、大木均収入役による閉式のことばで第1部が終了。第2部はアトラクションとして関城吹奏楽団の演奏が披露され、式典に花を添えました。



筑西市長 富山 省三

去る3月28日に、大きな夢と期待を担って、新市『筑西市』が誕生いたしました。本日、その記念式典が、多くの来賓ならびに市民をお迎えして盛大に開催できますことは、このうえない喜びであり、全ての市民に心からお祝いを申し上げます。

『筑西市』は、今まさに、新しいまちづくりのスタートラインに立ったわけですが、それぞれの地域や先達の貴重な知恵と伝統、誇るべき文化的財産や自然遺産を受け継ぐとともに、今必要な種をしっかりと見極め、これをとき置きながら、真に住み良いまちづくりを進めることが、私の大きな使命であると思っております。

同時にまた、筑西市民一人ひとりが、合併してよかったと実感できるまちづくり、そして、『人と自然、安心して暮らせる共生文化都市』と『環境と心と福祉を大切にした生活先進都市』筑西市の建設を目指し、市民が安全で安心して暮らし、誇りの持てるまちづくりの実現に向けて、全力で取り組む所存でございます。

新市『筑西市』の門出は、まだまだ克服すべき幾多の課題を抱えていることも事実ですが、常に筑西市としての一体感を醸成しながら、様々な課題を一つひとつ確実に克服していくことができよう、一生懸命に取り組んで参ります。

今後とも、新しい都市『筑西市』の更なる発展のために、なお一層のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

総務大臣表彰（合併功労者表彰）

- 富山 省三（旧下館市長）
- 齋藤 和夫（旧関城町長）
- 古宇田和夫（旧明野町長）
- 大木 均（旧協和町長）



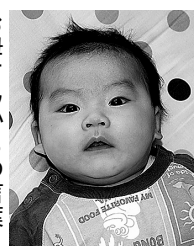
市長感謝状

下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会委員

- 落合 勇（小川）
- 関根 静子（岡芹）
- 高橋 三郎（小林）
- 木村 久男（丙）
- 中川 郁夫（関本上）
- 大畑マサ江（西保末）
- 塚原 鉄雄（辻）
- 高橋 邦博（井上）
- 坪松 亨（海老ヶ島）
- 廣瀬 しつ（海老ヶ島）
- 赤城 猛（赤浜）
- 日向 洋一（鷺島）
- 稲葉 昭一（中上野）
- 谷島 久男（柳）
- 中島 和子（三郷）
- 児島宗平衛（小栗）
- 鈴木 政雄（知行）
- 下館市・関城町・明野町・協和町合併協議会監査委員
- 渡辺 清（稲野辺）
- 植木 正明（関本肥土）
- 柴 真（山王堂）
- 飯村 市郎（門井）
- 篠原 正雄（小栗）
- 新市名称名付け親大賞受賞者
- 須藤 梢（関本中）
- 市章デザイン最優秀賞受賞者
- 鯨井 祐昌（宇都宮市）
- 市町村合併推進団体
- 同友クラブ

3月28日誕生者

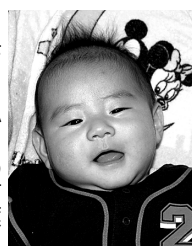
大塚 陸斗くん（下中山）



お母さんからの言葉

「この子には、健やかにたくましく育ち、市の発展に貢献できるように育ちたいです。筑西市の歩みと時を同じく刻むことは、記念であり嬉しいこと。将来の筑西市には、ホールなどみんなが集うことができる施設が整備され、文化あふれる都市になって欲しいと思います。」

坂入 夏樹くん（下江連）



お母さんからの言葉

「のびのびと元気に育って欲しいです。この子が成人するころは、人口の減少が進む時代ですが、思いやりがあつて、その時代に望まれる人になってくれれば良いと思っています。将来の筑西市には、安心して暮らせる、住み良い都市になって欲しいですね。」